

(社) 土木学会 土木技術映像委員会 主催

第44回 イブニングシアター(夏休み 親子で楽しむ土木の技術)

平成20年8月27日 水曜日 18時00分 開演

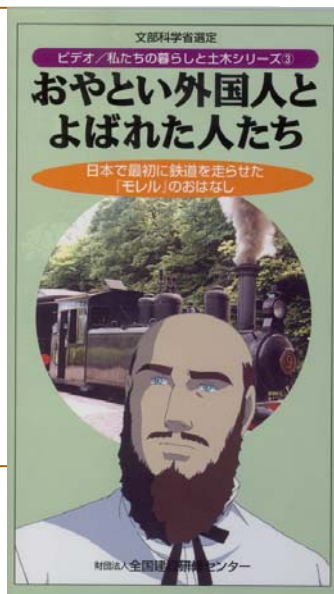
土木学会選定映像

## おやとい外国人とよばれた人たち

日本で最初に鉄道を走らせた「モレル」のおはなし

企画:(財)全国建設研修センター 制作:虫プロダクション 20分 2001年

1870(M3)年、明治政府は日本の近代化、国づくりの骨格となる鉄道を1日も早く取り入れようと、ロンドンから28歳のエンジニア、エドモンド・モレルを招いた。日本に鉄道を造る第1頁を開くその時、どのような苦勞や工夫があったのか。この作品は日本の近代化を支え、恩人となった「おやとい外国人」の姿を、エドモンド・モレルを通して、アニメーションと実写を交えて描いている。



(同パッケージより)

土木学会選定映像 第17回コンクール準優秀賞

## 余部鉄橋の記憶

企画・制作:キャメル 監修:兵庫県香美町 24分 2007年

1912(M45)年、山陰線の小さな村に、当時東洋一を誇る大鉄橋「余部橋梁」が完成した。この作品は当時のルート選定、建設技術、その後の保守について遺された資料をもとに、約100年もの間日本海の厳しい風雪に耐え、多くの人たちに支えられてきた橋梁の歴史、そこに展開された人間ドラマを、美しい映像を通じて余すところなく伝えている。



(同パッケージより)

土木学会選定映像 第16回コンクール準優秀賞

## 富士山を測る

企画:大成建設 制作:桜映画社 25分 1994年

この作品は富士山の標高がどのような計測技術に基づいて測られてきたか、その歴史の流れを概観すると共に、測量技術や器械の進歩がより精密な測量を可能としたことを、「直接水準測量」と「GPS測量」により実際に富士山の計測を行う過程を描きながら示している。山麓の水準点から、富士山頂まで50日間かけて計測していく姿はとても美しく、雲海の風景と相まって感動のシーンが続く。単なる記録映画を超えた作品となっている。



(同作品のワンシーン)

【共催企画】8月22日(金)午前10時 「国づくりの歴史アニメ映画会」 於:文京シビック小ホール

参加無料 HPにて参加申込み受付 <http://www.jsce.or.jp/>

場所:土木学会 講堂  
JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線  
「四ツ谷」駅下車徒歩5分

(社) 土木学会事務局 土木技術映像委員会 担当:坂本真至(土木図書館)  
〒160-0004 新宿区四谷1丁目(外濠公園内)  
TEL.03-3355-3596/FAX.03-3355-6055

本上映会は、(社)土木学会の技術者継続教育(CPD)の単位になります。

